

平成維新を実現する会・第4回全国協議会議事録

記録文責・全国協議会地域活動ニュース担当 木 冬彦

【日時】1996年10月6日（日）13:00～16:00

【場所】若宮幼稚園・川崎市川崎区大師駅前2-13-16

【ホスト地区】平成維新を実現する会神奈川

【議長／副議長】高崎政弘さん（福岡）／

江頭清昌さん（東京）・徳田洋子さん（広島）

【事務局】藤岡裕三さん（大阪）

【司会】神田浩行さん（神奈川）

【出席】舟生さん（茨城）・江頭さん（東京）・長

谷川さん（東京）・貞松さん（神奈川）・中村

さん（神奈川）・神田さん（神奈川）・片岡さ

さん（石川）・藤岡さん（大阪）・真野さん（兵

庫）・杉本さん（岡山）・橋本さん（広島）・

徳田さん（広島）・高崎さん（福岡）・富永さ

さん（福岡）・香月さん（維新バス）・林（地域

活動ニュース）

ホスト地域平成維新を実現する会神奈川の方々

（塚本さん、巽さん、坂本さん、白瀬さん）

【欠席】やむを得ない事情で欠席するという連絡が
その他16の地域からあった。なお、前日の前夜祭
には、神奈川の松本広二郎さん、横浜の吉田さん
も参加され、熱狂的な夜となった。

【議事】各自、氏名と所属だけの自己紹介の後、議
題にしたがって議事が進行された。

【1】各地域の活動情報の交換（事前に資料交換、
質疑を中心に）。

【2】平成維新を実現する会として今まで合意され
たことの確認。以下の事項（既に過去におい
て合意済み）が確認された。

- 1)大前研一通信は、実質的に平成維新の会を継承し
たものと考え、これを全国の平成維新の実現を目
指した地域活動に関心のある人に、情報を提供す
るツールとして使う。
- 2)大前研一通信は、各地域組織の参加者全員が行動
するかどうかは言及しないが、代表ならびに全国
協議会参加者は購読する。
- 3)登録している団体は、正式には「平成維新を実現
する会〇〇」をつける。
- 4)先に会則ありきではなく、ゆるやかな結合を保つ
たものとする。

【3】平成維新を実現する会としてこれから決める
必要のあること。以下の事項が提議され、合

意事項として確認された。

- 1)大前研一通信については、全国協議会出席者は必
ず購読してほしい。また、各地域組織の会員につ
いては、原則として購読してほしい。
- 2)全国協議会は4ヶ月に一度の開催とする。
- 3)パソコン通信などを利用した情報交換の効果は認
めつつも、顔と顔をつきあわせた関係づくりも重
視する。
- 4)次回の日程については2月（もしくは3月）神戸
開催を予定（ホスト地区組織：平成維新を実現す
る会兵庫・いしんくらぶ兵庫、代表：真野祐輔氏）
- 5)地域では代表の他にサブを決めて、その人達をも
全国協議会の参加メンバーとする。そして今後は
4ヶ月に一度の全国協議会には、できるだけ地域
から代表・サブのどちらかが参加する（継続性を
もって会議に出席してもらいたいという意図より）
- 6)サブの選出方法は、代表による指名や選挙などが
考えられるが、地域組織に任せる。

【4】大前研一通信購読者増加方策について（平成
維新を実現する会としての応援方法）。

- 1)パソコン通信（平成維新フォーラム）で大前研一
通信を購読する人も徐々に増えている。
- 2)現状では、まだまだ平成維新を実現する会の応援
が必要と考えられる。
- 3)広島では、大前さんの講演会（市民大学講座など）
でボランティアとしてブースを設置し、大前研一
通信をPRした。
- 4)広島では、地域組織への参加費を一口千円（前回
6千円）にして、その分大前研一通信の購読を呼
びかけている。
- 5)各地域の平成維新を実現する会の会員がせめて一
人あたり一人の購読者を増やしてほしい。そこら
ら出発したい。
- 6)大前研一通信に掲載する各地域組織の活動予定な
どの情報が集まらないので、各組織では担当者を
決めて必ず情報を窓口（担当：林）まで送ってほ
しい。大前研一通信を利用して情報共有やPRを
毎月図っていきたい。

【5】連絡窓口空白地域の取り扱いについて。

（秋田・宮城・山形・千葉・福井・山梨・長
野・三重・和歌山・島根・山口・愛媛）。
空白地については、以下の方策で対応するこ
ととなった。

- 1)パソコン通信の参加者に呼びかける。